

会員各位

平成 24 年 12 月 4 日

公益社団法人日本口腔インプラント学会による
国際誌の発刊に関するアンケート結果報告

国際誌検討委員会委員長 前田 芳信

過日、国際誌を発刊することに関しまして、代議員 296 名にアンケート調査をいたしましたところ、235 票の回答がありましたので（回収率 79%）結果をご報告申し上げます。

賛成 156 票（約 52%）、どちらかといえば賛成 55 票（約 19%）、あまり賛成できない 15 票（約 5%）、賛成できない 9 票（約 3%）という集計結果になりました。

この結果から賛成が大多数であるため、理事会において国際誌発刊に向けての作業を継続することが決定されました。アンケートのご協力につきまして感謝申し上げます。

調査期間：2012 年 9 月 25 日から 10 月 19 日まで

調査対象：本会代議員 296 名

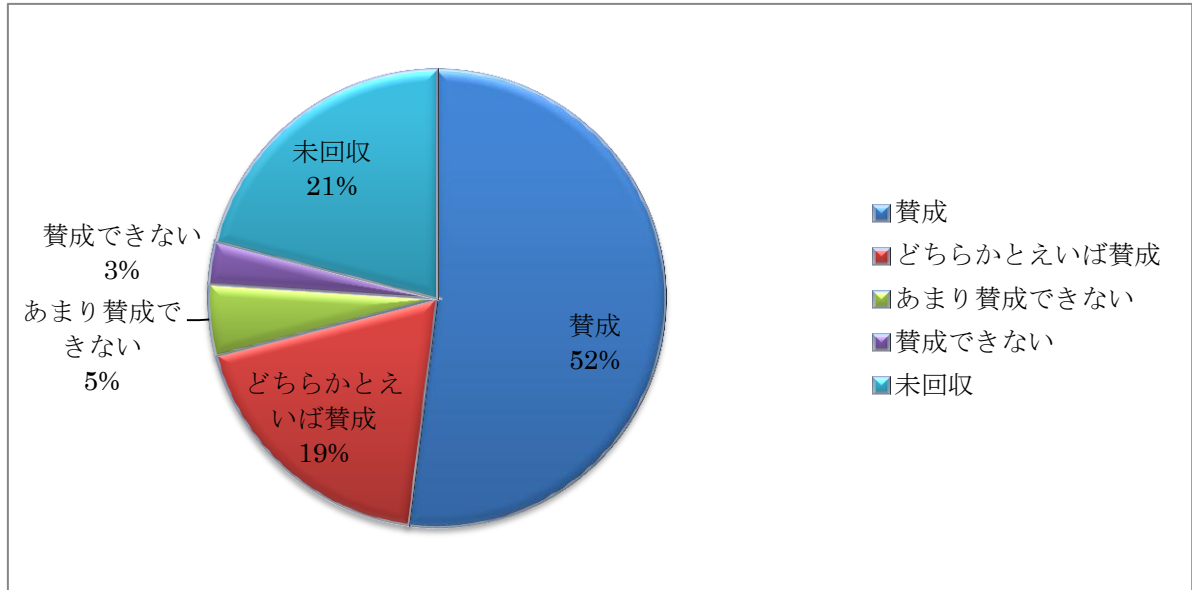
調査内容：本会が国際誌を発刊することに関して、
「賛成・どちらかと言えば賛成・あまり賛成できない・賛成できない」
を調査

調査結果：次ページ参照

公益社団法人日本口腔インプラント学会による
国際誌の発刊に関するアンケート調査結果

アンケート発行数：代議員 296 名
(回収 235 票) →回収率 約 79%

【国際誌を発刊することに対して】



■賛成 (156 票)

- ・(条件として) 日本語雑誌を廃止し、PubMed、IF をめざすなら賛成
- ・ADA、IADR、AO、OMFS、ICOI とも考えて頂きたい
- ・DGI のみならず韓国等とも、もちろん ADI 等含めて、話合ってみてればいいとおもいます。イタリアも面白いと思います。
- ・基本的には賛成ですが、英文投稿者が何人もいるでしょうか？
大学が中心になったものなら可能でしょうか。
- ・ただし指定翻訳会社を決められたら良いと思います。
- ・もちろん念頭に置かれていると思いますが、IF 取得を目指すことを強く希望します。
- ・大変良い事であると考えられます。
- ・賛成ではありますが、現在の日本語誌の投稿内容を鑑みますと国際誌査読委員の負担はなみなみならぬものになるであろうと心配しております。
- ・可能であれば単独発行
- ・DGI と共同で行うのが良いと思います。

■どちらかといえば賛成（55票）

- ・掲載された論文をネット上で日本語による閲覧が可能となれば更に良い。
- ・査読者の負担が増えるのが心配
- ・コスト的に問題がなければ
- ・国内誌の充実が第一課題

■あまり賛成できない（15票）

- ・「国際」というなら日独だけでなく、その他の国（少数でもいい）も入れたほうが良いと思う。
- ・論文が集まるか、会員が読むか、出版継続できるか、補綴学会の英文誌の件を参考にされたい。議論するのは簡単だが現実には問題が多い
- ・既存の一流英文誌への投稿が減少することにつながる
- ・多額の経費が必要となる
- ・他の国内学会でも同様の英文誌を出す事が行われていますが、原稿を集めるのが結構大変です。英文の場合、既に在る雑誌への投稿をまず考えると思います。
- ・学会が学術的に成熟していない、**DentalMaterialsJ**（理工学会）に間借りしてワードシェアで始めるとか。
- ・和文誌との共存からスタートしてから独立を考えるほうがよいかと思います
- ・学会単独なら賛成
- ・まだインプラント使用症例が、エンド、ペリオ、咬合、術式等々十分でないと思います。
- ・国際紙を発行しなければならない理由に説得力がないように思います。他学会例えば口腔外科学会や、矯正歯科学会などはすべて国際紙を発刊されているのでしょうか？また、その場合、学会誌に投稿する場合は、英文で投稿することが必要となるのでしょうか？臨床家にとって、そのようなことはほとんど不可能となるように思います。
- ・時期尚早
- ・和文誌の論文でも投稿数が少ない現状を考えると、投稿論文が集らない可能性が高いため。
- ・歯科領域でも分科会が非常に多く、たとえば口腔外科の学会誌（分科会）をみるとあまりにも専門・疾患別に細分化されてしまい、各々の学会誌の中身が非常に少なくなっている状況である。もちろんインプラントにおいては、補綴、保存、口腔外科、放射線診断など関連する診療科は多いが、会員のそれぞれのスタンス（大学病院などの研究施設、スタディーグループ、開業医など）が非常に差があるように思われます。発刊に際しては、**British Journal** などのように、基礎研究、臨床研究、ケースレポート、短報などある程度、投稿規定を分けていただいた方が、投稿する先生のニーズに対応できると思われます。

■賛成できない (9 票)

- ・ 国際誌の発刊そのものについては賛成です。賛成できない理由は、
 - ①アジア、近隣諸国に対しリーダーシップをとるつもりならば、DGI と共同というのは如何なものかと思えます。
 - ②ドイツ以外にもインプラントに力を入れている国は多数存在し、ドイツだけと連携した場合、今後将来においても他の国との連携に危惧が生じる可能性はないのでしょうか。
 - ③他の国との共同誌の場合、厚生労働省未承認材料等の使用も絡んでくると思われますが、そのあたりのすり合わせはいかがでしょうか。
- ・ DGI との共同で日本の学会員の論文がアクセプトされる率は投資した額にみあわないのではと思います。日本補綴歯科学会英文誌の編集方針もインプラントを取り込む方向で、バッティングする可能性もあります。J P Rに相乗いただくのもありと思います。
- ・ 投稿数が和文にしても少ないので心配です
- ・ 現在の歯科大学主体の学会の運営方式に賛同できないから。インプラント学会は開業医が主体です。
- ・ なぜ DGI なのか。対等なのか。EAO となら良いと思う。
- ・ DGI とやる必要がない
- ・ まず国内でやるべきことが山積している中、労力が大きすぎます
- ・ 国際誌は賛成であるが、趣旨に特定ドイツ学会との共同発行と有るが、日本独自の考え方で国際的に発信することが望ましい、また国内での国際学会WCOI との調整がついていないし、以前は日本インプラントがWCOI を開催していたがどうなっているのか？関連学会が多すぎる、まとめて一本化を狙うことで、その日本の国際誌は多くの人に読まれて充実し無駄なお金をかけることがないのでは、また忙殺されて本来の業務が疎かになっているのでは・・・・・・・・
- ・ 国際誌発刊には賛成ですが、ドイツの学会との共同発刊に関しては反対です。

以上